

リ六月一日ニ於テ市民ハ市中行列運動ヲナシ至急懸案ノ解決ヲ請願セシヲ以テ適切ニ説明ヲ加ヘ並ニ双方目下北京ニ於テ委員ヲ任命シ討論中ナルニ付久シカラスシテ解決ヲ告クヘキヲ以テシタルニ群衆稍平靜ニ歸シ秩序甚タ佳良ナルモノアリ又一面日本領事館及商店等ニ対シテハ夫々軍警ヲ派シテ保護ヲ加ヘ情況平穩ニ經過致候得共本件可成速ニ解決セラレン事ヲ請フ旨電報致越候
就テハ貴公使ニ於テモ本事件ヲ至急公平ニ解決シ長沙官民ノ期望ヲ慰セシメラレ候様致度此段照会得貴意候 敬具

(付記二)

大正十四年六月四日在中国芳沢公使発幣原外務大臣宛電報第四六二号

中国外交部ヨリ長沙事件解決方ニ関スル予備的談合ヲ為シタキ旨申出デアリタルニ付同意ノ件

第四六二号 (長沙事件解決ニ関スル件)

往電第四四二号ニ関シ

四日外交部ヨリ六日午後予備的談合ヲ為シタキ旨申出デタルニ付之ニ同意ヲ与ヘ同日外交部ニテ総長ト会合スルコトト為セリ不取敢

事項三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況

一 東北 (満州)

二 華北

三 揚子江流域

四 長沙

五 華南

一 東北 (満州)

一五六 三月十六日 (着) 在ハルビン山内総領事ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

ハルビン總商会ニ於ケル日中条約廢棄旅大返

還要求ノ動キニ付報告ノ件

第八三号

大正四年ノ日支条約廢棄及旅大返還ニ関シ数日前ヨリ当地總商会ハ各地ニ電報ヲ発シテ輿論ヲ高メムトシ尚昨十四日哈爾濱国民外交後援会ヲ組織シ日本若シ旅大還附ヲ承諾セザルニ於テハ之ヲ國際裁判ニ附シ公決ヲ請求ス可シ等主張シ又当地教育会ノ一教員ト共ニ後援団ヲ組織シ市内ニ於テ旅順大連ノ關係及回収ノ必要等ヲ講演スル者アリ又新聞紙

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 一五六 一五七

ハ爰數日來本件ニ関スル記事ヲ連載シ各省人民一致シテ力

争シ外交ノ後援ヲ為ス可シト論ジ万已ムヲ得ザル場合ニハ

只管日貨ヲ用ヒズ消極的ノ抵制ヲ為ス可シト唱フル者アリ

北京ヘ転電シ奉天吉林ヘ暗送セリ

(長春經由三月十五日後六、三五)

一五七 四月十九日 (発) 在奉天赤塚総領事ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

日貨排斥運動ノ為歸国セル留日中国学生ノ再

渡日取締リ方ニ付申進ノ件

第七二号

天津発本官宛電報第九号

外務大臣ヘ転電アリタシ

第六二号

(排貨運動)

往電第六一号中奉天ヘ帰途ノ留日学生ニシテ再ヒ渡日ノ途

ニ就クモノアラハ帝国ノ領土ニ入ラントスル際断乎トシテ

其入国ヲ禁セラルルノ御処置ニ出テラレンコトヲ切望ス彼

等ノ盲動ハ平常一部ノ放縱ナル我学生ノ空氣ニ染レル結果ニシテ彼等ニ対シ此際断乎タル御処分ニ出ラレ斯ル在日支那留学生ノ思想ヲ振肅セシムルノミナラス事大主義ノ支那人ノ常トシテ一般本国学生ヲモ却テ大ニ反省セシムルノ実効アリト信ス

北京へ暗送セリ

一五八 五月八日（着）在吉林深沢総領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

吉林ニ於ケル国恥記念日ノ情况ニ付キ報告ノ件

第四八号

吉林ニ於ケル五七記念日ハ法政専門及省立中学等ノ学生約五六十名午前十時同中学ニ会合シ夫レヨリ三、四名一組トナリ国辱記念宣伝ナル印刷物ヲ各戸ニ配布セシノミニテ別ニ示威行列モナク甚ダ氣乗リセザル状態ニテ了レリ
支那、奉天、長春、哈爾濱、間島、天津、上海へ暗送セリ
（長春中継五月八日後六、三五）

（訳文）

至急郵便ヲ以テ電報ニ代ユ

黒竜江省立、県立各男女学校、各県教育会、勸学所、農会、商会、各団体諸先生殿

満鉄会社ハ倭賊早川ヲ派遣シ省城ニ駐在セシメ浜黒鉄道ノ請負建築ヲ為サシムル様運動セシメタルカ聞ク所ニ拠レハ省會議員等利ヲ見テ義ヲ忘レ已ニ買収セラレタリトノ説アリ日本ノ野心ハ狼貪壓ヲ知ラス由來我黒竜江ヲ覬覦スル已ニ久シ近頃名流豪富ニテ黒竜会ヲ組織シ正ニ北侵ヲ企図ス速ニ戒備ヲ為サスンハ後患堪ユヘカラス議會ニハ電報ニテ警告ヲ発シタルモ特電ニテ報告ス希ハ諸君蹶起シテ郷土ヲ警告セハ幸甚ナリ

黒竜江省留日学生同郷会

一六〇 五月十六日 在赤峰北村領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛

赤峰ニ於ケル日貨排斥運動ニ関シ報告ノ件

機密公第二〇号 （五月二十九日接受）

大正十二年五月十六日

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 一六〇

一五九 五月十日 在齊々哈爾濱山崎領事ヨリ
内田外務大臣宛

チチハル出身ノ留日学生ノ排日文書送付ニ関スル件

本機密第二三号 （五月十九日接受）

大正十二年五月十日

在齊々哈爾

領事 山崎 誠一郎（印）

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

留学生ノ排日文書送付ノ件

貴地留学ノ当省出身学生等ハ昨年秋以來当地ニ在勤スル滿鉄公所長早川正雄ニ対シ無根ノ妄想ヲ逞ウシ別紙ノ如キ排日伝單ヲ東京ヨリ本省各県立学校各県教育會勸学所農會商會各団体ニ対シ多數發送シ來リタルモ予テ張作霖ノ命令ニ依リ当地郵便局ニテハ悉ク沒收シタル処其内商會宛ノモノヲ局員ヨリ密ニ入手シ査察スルニ此種学生等ノ発信形式ハ略ホ別紙ノ封皮ニ記載スル通ノモノヲ同時ニ多數發送スルモノナレハ將來何等カ御取締ノ参考迄ニ及送附候 敬具

（別紙）

在赤峰

領事館事務代理 北村 国太郎（印）

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

赤峰ニ於ケル日貨排斥ニ関スル件

本件ニ関シテハ其ノ後五月二日夜隱ニ又左ノ如キ伝單ヲ街ノ各所ニ貼付スルニ至ル

中国貧弱原因 始於甲午之戰 日本欺我不強
屢次來把地佔 割去澎湖台灣 賠款二百万
我国遼東半島 幾乎為其所騙 幸於俄國不利
糾合德法抗弁 迫日歸還遼東 俄租旅順大連
未幾日俄啓釁 日得租借之權 起初條約所載
原定二十五年 届今三月期滿 俄國即要收還
日挾二十一条 強迫欲欲展限 吾輩愛國民
勃然憤心發現 政府財力力薄 不能与之力戰
只可文明抵制 日貨概不購弁 抱此愛國方針
日本經濟可斷 務必堅持到底 倭鬼死亡立現
願我愛國同胞 不可以利起見 俱各同心一致
切莫觀望不前 赤峰童子救國團公啓

続キ同三日第三回ノ伝單ヲ貼リタルカ左ノ如シ

概自民国以前 滿清政治不綱 日本肆行野心 侵佔我国地方 攘去台湾琉球 復把高麗種亡 彼竟得隴望蜀 愈加大肆猖狂 旅大本是我土 由俄轉租東洋 約定二十五年 屆期歸還我邦 至今年限已滿 硬行抵賴不償 願我国内同胞 万勿袖手在傍 对待良善方法 不買日貨一椿 日本区区三島 伏持与我通商 言不与彼交易 不愁燬種不亡 藉此以作後盾 可称最上良才 勸告父老兄弟 以及士農工商 快々起来提倡 展可軋弱為強

「抵制日貨万載勿忘」赤峰学生救国団同啓今回「ビラ」ハ街ノ至ル所ニ貼付シタルニ拘ハラス市民ノ之ニ注意スル者殆ントナシ、只学界首脳ハ暗々裡ニ思策スル所アリ即チ当赤峰市内十個小学校生徒ニ校服（操衣）ヲ作ラシメ白地木綿ヲ一尺角大ニ切り旗ヲ作り赤峰商人ヲ集メテ日支国交ノ来因二十一個条ノ経緯及經濟的敵対行動ヲ執ルヘク学商一致シテ真面目ノ排日貨ヲ行フヘク勸説シタリトイフ五日商務会ニ会同シタル際同様抵制日貨ヲ主張シタルモ商會員ハ自己ノ貨物中大部分ハ日貨ナルヲ以テコレニ賛成スル

国、帝国臣民ニ対シ不敬不遜及暴行ニ出タル形迹ナク平穩ニ午後二時過散会セリ

コレニヨリ商民ハ幾何ノ動色ナク只黙從シテ旗ヲ掲ケタルニ過ギス真摯トシテコレヲ断行スル事ハ商民現在自己ノ大損失ヲ招クノミナリ官憲ハ予メ当館ヨリノ注意ニヨリ此日ハ若干ノ巡警ヲ出シ監視セシメタル外一般ニ傍觀ノ有様ナリキ

今次使用セルビラハ總テ北京方面ヨリ送り来リタルモノニ拠リタル如ク中ニハ前三四年青島回收運動ノ際使用シタル排日宣傳ビラヲ転用スルノ奇態ヲ現ハスニ至レリ

此後毎週一、二回全小学生ノ排日貨運動アル如ク聞キタルニ因リ其ノ後ノ形勢ヲ内偵シタルニ其ノ意嚮甚タ不統一ニシテ熾烈ナラス只当市内石炭販売店ノ經紀（仲買人）等中ニ以上運動ヲ曲解シ私利ノ關係上当地日商滿蒙興業会社支店工場ニ石炭ノ販売ヲ抵制スルカ如キ稍惡化シタル傾アルニ付直ニ責任官庁ニ嚴重折衝シテ其ノ不正ヲ矯メタリ

去ル十日熱河都統署軍務処長軍事視察ノタメ来赤シタルニ拠リ此ノ機ニ乗シ小学生ノ再挙アルヘク予想シタルニ示威運動予定時日ニモ其ノ決行ナク同処長ノ開魯ニ向ケ出発ス

ヲ得ス一般ハ冷静ナリ
七日国恥紀念日ハ各商家ニ国旗ヲ建テ併セテ白地ノ旗ニ「提倡国貨、否認二十一条、文明抵制、幸勿暴動、還我旅大、商學一致、勸我日醒、各懷熱心」等ノ句ヲ墨書シテ添ヘタリ午前九時ヨリ当市十個校生徒ハ教員ノ引率ニヨリ勸學所ニ集合シ商務会正副會長、理財所長、勸學所長、各學校教員生徒各商店有志家等約五百余名手ニ還我旅大、否認二十一条等墨書シタル大小白旗ヲ持シ口々ニ「還我旅大、否認二十一条、民国万歳」ト教員ノ首領ニヨリ発声シツツ遊行シタルカ復唱スルモノハ一部ノ生徒ノミニシテ声細ク旗ヲ見サレハ何ノ意味ナルヤ知ラサルカ如シ

経路ハ二道街勸學所ヨリ東行西横街ヨリ頭道街ニ出テ南線胡同ヨリ又二道街ニ出テ東行郵局ヨリ三道街ニ抜ケ西行菜市ニ於テ一場ノ演説アリ西行シテ將軍府前ヨリ西方横町ヨリ二道街勸學所ニ歸リ此所ニテ二三人士ノ演説アリタリ其ノ意味ハ日支国交ノ概略二十一個条問題ヨリ旅大ニ及ヒ文明手段トシテ經濟上ヨリ日本ヲ苦メ旅大返還ヲ已ムヲ得サラシムルタメ拳國一致ノ運動ニ出スヘク当地方モ商學兩界連絡シテ其ノ達成ヲ図ルヘシト唱道シタルモノニテ別ニ帝

ル十五日迄何等一般官民小学生ニ排日ノ模様ナシ該処長ノ非常ナル親日ニテ其ノ隨行幹部中ニハ日本士官學校出身者アリタル等ニテ運動ヲ中止シタルモノノ如シ尚同処長一行ノ言行ヨリ推断スルモ熱河中枢官憲ノ抵制日貨ニ関シテハ甚タ冷静ニシテ各界ヲ使喚シタルカ如キヲ認メス

爾後当地學界モ或ハ後日ヲ期シ遊行ヲナスストイヒ或ハ北京方面ノ通信ヲ俟チ決行ストイフモ一般人ノ邦人ニ対スル觀念及邦商及日貨ヲ取扱フ各支那商店ハ旧日ノ如ク營業シ仕入ノ日本貨物モ何等障礙ナク入荷中ナリ

右及報告申進候 敬具

本信写送付先 在支那代理公使

一六一 六月二十八日（發） 在奉天赤塚總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）

排日取締方ニ付王奉天省長ニ申入レノ件

第一〇八号

当地東報ノ時評ハ最近長沙事件發生以来著シク排日煽動ノ色彩ヲ濃クシタルヤノ觀アリ就テハ当時王省長ニ面会ノ節市川副領事ヨリ注意方促シ置キ又本官ニ於テモ直接張作霖

ニ嚴重取締方申入レ其ノ快諾ヲ得置キタリ
尚取調べノ結果該新聞時評ハ南方出身ノ二十才前後ノ弱年
記者ノ執筆ニ係リ且該新聞ハ購読者モ多カラサル事判明シ
タルヲ以テ差シタル影響無シト思ハル

一六二 六月二十九日（発） 内田外務大臣ヨリ
在奉天赤塚総領事宛（電報）

満州ニ於ケル日貨排斥運動ノ我貿易並ビニ邦
人事業ニ及ボセル影響ニ付査報方訓令ノ件

第六二号

満州ニ於ケル排日未ダ我貿易及邦人ノ事業ニ影響ヲ及ホス
ニ至ラズト被認ルル処為念承知シ度ニ付貴官ハ在滿各領事
ノ報告ヲ取纏メラレ成ルベク具体的ニ右影響ノ有無乃至程
度ヲ至急査報セラレ度特ニ1、在滿邦商及本邦品取扱支那
商ノ日常取引2、主要市場ヨリ奥地ヘノ売込3、本邦ヨリ
ノ直接輸入4、他ノ地ヨリノ移入5、本邦銀行ノ預金取引
6、滿鉄搭載貨物及7、各個主要輸出入品ノ夫々等ニ及ボ
セル影響並8、本邦品ニ代テ売行増加セル欧米乃至支那製
品ノ有無程度等項ヲ別ツテ詳報アレ尚在滿支那商ヲ通ジ一

満州ニ於ケル排日運動ノ日本品取引及日本人事業

ニ及ボセル影響

（付屬書）

在牛莊清水領事ヨリ在奉天赤塚総領事宛機密第一三号信写

機密第一三号

大正十二年七月六日

在牛莊

領事 清水 八百一

在奉天

総領事 赤塚 正助殿

満州ニ於ケル排日運動ノ日本品取引及日本人事業ニ

及ボセル影響

本件ニ関シ本月二日附機密領第五号貴信ヲ以テ客月三十日
附内田外務大臣發貴官宛第六二号電報暗号ノ儘御転送ニ相
成委曲敬承致候就テハ別紙ノ通及査報候間可然御取計相成
度此段申進候 敬具

本信写送付先 外務大臣

（別紙）

満州ニ於ケル排日運動ノ日本品取引及日本人事業ニ

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 一六三

部本邦品ヲ天津上海方面ヘ売込マシメ得ルヤニモ認メラル
ル処其ノ能否及方法ニ就テ内密各方面ノ意見ヲ徴シ回電ア
リ度シ

本電参考トシテ在滿各領事ヘ暗送アレ

一六三 七月六日 在牛莊清水領事ヨリ
内田外務大臣宛

満州ニ於ケル排日運動ノ日本商品取引並ビニ
邦人事業ニ及ボセル影響ニ関シ査報ノ件

付屬書

同日付在牛莊清水領事ヨリ在奉天赤塚総領事宛機
密第一三号信写

機密第三一号

（七月十日接受）

大正十二年七月六日

在牛莊

領事 清水 八百一（印）

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

大正十二年七月六日附機密第一三号

奉天赤塚総領事宛往信写一通送付

件 名

及ボセル影響

当地方ニ於テハ日支ノ關係以前ヨリ極メテ円満ニシテ他地
方ニ於テ排日熱ノ盛ナルトキニ於テモ曾テ排日の気分ノ現
ハレタルヲ見タルコトナク又当地方支那商ノ取扱ヘル輸入
商品ノ重ナルモノハ日本品ナルカ故ニ若シ日本品ヲ取扱ヒ
得サルコトトナラハ支那商ノ多クハ其營業立行カサルヨリ
商人側ニ於テハ排日運動ヲ喜ハサルニ搗テハ本春二十一ヶ
条問題ニ関連シ支那各地ニ於テ排日の傾向現ハルルヤ張作
霖ハ其滿州ニ波及センコトヲ虞レ排日運動ノ取締方ニ関シ
東三省各地方官憲ニ対シ嚴命スル処アリタルヤニテ当地道
尹ノ如キハ排日取締ニ関シ相当注意ヲ払ヒ居レルモノノ如
クニ見受ケラル（本年四月七日付大臣宛機密第一五号奉天
宛ハ四月九日附機密第八号参照）從テ当館管内ニ於テハ錦
州ヲ除クノ外殆ント排日の行動ノアリタルヲ聞カス錦州ト
テモ日本ヨリ帰來セル留学生力奉天ヨリ天津北京ニ向フ途
中汽車ノ同地停車中ヲ利用シ排日宣伝文ヲ停車場附近ニ撒
布セル位ニ止マリ何等組織の運動ヲ試ミタルモノナク殊ニ
同地方一般住民ハ二十一ヶ条問題ニ対シテハ冷静ノ態度ヲ
持セリ尤モ五月下旬頃当市中ニ於テ錦州ヲ中心トスル遼西

地方ニ於テ或ル日ヲ期シ一斉ニ日貨排斥ヲ決行セントスル風説伝ハリシモ右ハ幸ニ一種ノ虚伝ニ過キス數日ニシテ其跡ヲ絶ツニ至リタレハ本邦品取引上ニ何等影響スル処ナクシテ止ミタリ

北滿方面ニハ幾分排日ノ氣分漂ヒ居レルモノノ如クニ看取セラルルニ付当地ト同地方トノ最近取引情况ヲ査スルニ当地ヨリ北滿方面ニ輸送スル商品ノ主ナルモノハ綿糸布ナルカ北滿ニ於ケル綿糸布ノ取引ハ大抵商標ニヨリ商内ヲ進ムルモノナレハ一般顧客ニ知渡レル商標ニアラサレハ取引困難ナルヨリ一部支那人間ニ於テ日貨排斥ヲ主張スルモ已ニ商標ヲ売弘メ居レル日本品(重ニ上海製日本品)ヲ振捨テ新規ノ外国品又ハ支那品ヲ取扱フカ如キハ多數商人ノ堪ヘ得サル処ナレハ北滿ニ於テ多少排日ノ傾向アリトスルモ日本綿糸布ノ売行ニハ差シテ影響スル所ナカルヘシト当地ノ我当業者ハ觀測シ居レリ尤モ目下北滿トノ一般商取引ハ極メテ不振ノ情態ニアルモノナルカ右ハ排日ニ因ルモノニアラスシテ近來同地方ニ於ケル財界不況ノ結果ニ基クモノナリト云フ

当港ニ輸入セラルル綿糸布ノ大部分ハ上海製品トシ右上海

トスル考案ニ関シ当地当業者ノ意見ヲ徵スルニ右ハ其実行ニ當リテハ日本品タルコトヲ隱蔽スルタメニ商標ノ一般ニ知渡レルモノハ之ヲ取替ヘ又商品自体若シクハ其包裝ニ製造地又ハ製造会社名等ヲ記載セルモノハ之ヲ記載セサルコトトシタル上是非トモ一旦之ヲ滿州ノ一港殊ニ大連又ハ營口ニ輸入シ(安東ハ天津及上海方面トノ船便惡シキタメ之ヲ利用シ得サルヘシ)更ニ土產品トシテ輸出セサルヘカラス斯クスルトキハ仕向地ヘ直接輸出スルモノニ比シ

一、多クノ日數ヲ要スルコト

二、運賃其他諸掛ニ於テ多クノ費用ヲ要スルコト

三、荷物ノ積卸度數多キタメ破損モ自然多カルヘキコト

四、營口ヲ利用スル場合ニハ輸入税ノ外ニ土貨トシテ輸出

税五分沿岸貿易税二分五厘ヲ支払ハサルヘカラス又大連

ヲ利用スル場合ニハ同地ハ自由港ナルカ故ニ輸入税ハ免

カルルモ土貨トシテ輸出スルニ當リテハ關東州租借地外

生産品トシテ輸出セハ輸出税五分ヲ支払フ外仕向先ニ於

テ沿岸貿易税二分五厘ヲ課セラルヘク又租借地内生産品

トシテ輸出スル場合ニ於テモ其原料品カ關東州外奥地ヨ

リ移入セラレタル内外國品ノ別ニ依リ是又所定ノ税金ヲ

製品中ノ大部分ハ上海ニアル日本紡績工場ノ製品ナルカ五月中頃上海ノ支那人通關業者組合ニ於テ支那汽船ニ積込マントスル日本製品ノ通關取扱拒絶ニ關スル取極ヲ為シタルコトアリテ一時当地ニ於ケル日本綿糸布ノ取引ニ打撃ヲ与ヘントシタリシモ幸ニシテ右取極ハ暫時ニシテ破レ永続セサリシタメ(一説ニハ当地商務總會ヨリ上海商務總會ニ交渉ノ結果緩和セラレタルモノナリト云フ)今日ニ於テハ日本内地製品タルト上海ノ日本紡績工場製品タルト問ハス孰レモ何等故障ナク上海ヨリ支那船ニヨリ輸入サレツツアリ綿糸布以外ノ一般商品ニアリテモ何等打撃ヲ蒙レル事実ナシ

之レヲ要スルニ滿洲ニ於ケル排日ハ当地ニ於ケル日本品ノ取引、当地ヨリ奥地ニ對スル日本品ノ売込、本邦ヨリノ直輸入、当地日本人銀行ニ於ケル支那人預金滿鉄搭載貨客、等日本品ノ取引若シクハ日本人ノ事業ニ對シ未タ何等影響ヲ及ホセル所アルヲ認メス從テ欧米品若シクハ支那製品カ日貨排斥ノ理由ニ依リ日貨ニ代リ其販路ヲ擴張セルカ如キ事実モ之ナシ

一部本邦品ヲ在滿支那商ノ手ヲ通シ天津及上海ヘ売込マン

課セラルル外仕向先ニ於テ輸入全税ヲ納付セサルヘカラスルヘシ(大連ニ於ケル上記ノ事実ハ猶一応再調ノ上若シ誤謬アラハ追報スヘシ)等ノ不利益アリテ実行困難ナルノミナラス假令是等ノ不利益ヲ忍ビ実行スルトスルモ實際当地方ニ出產セサルモノヲ土貨トシテ税関ニ申告スルコトモ出來難カルヘキヲ以テ貨物ノ種類モ極メテ少數ノモノニ限ラルヘシトノ意見ニ一致セリ

一六四 七月十日 在奉天赤塚總領事ヨリ
内田外務大臣宛

日貨排斥運動ノ奉天市場ニ及ボセル影響ニ関
シ回報ノ件

機密公第六八号 (七月十三日接受)

大正十二年七月十日

在奉天

總領事 赤塚 正助(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

排日影響ニ関シ回報ノ件

來電第六二号ヲ以テ御問合ニ係ル本件ニ関シ在記ノ通り回

報申進候条御査閲相成度候 敬具

記

来電第六二二号ニ関シ

(一)乃至(六)ハ滿州ニ於ケル本邦勢力ノ關係上何等ノ影響無カルヘキヲ首肯セラルル処ニシテ現ニ平生本邦商店会社等ニ出入スル支那商人ニシテ南支地方排日勃発後其出入ヲ忌避セントスル気色無キニ見ルモ明ナリ例之当地吉林燐寸会社製品ハ市場夏枯レニヨリ売行多少不振ニ陥レルモ支那商惠臨公司製品モ略同様不振ニ陥リ居レリ又最近哈爾濱及上海方面ヨリ輸入セラルル独露米三国製品(主トシテ服地時計文房具)ハ駭々トシテ当地市場ヲ蚕食セントスル傾向アルカ何レモ価格低廉品質堅牢ニシテ高価ナル本邦品ノ敵対シ得サル所、現ニ從來本邦品ヲ以テ独占シ且本邦人ニヨリテ消費セラレタル野球「テニス」等ノ運動用品乃至蓄音機等ニ至ル迄嗜好ノ向上ニ伴ヒ米國品ノ侵入ヲ歡迎セントスル風アリ又上海方面ヨリ營口經由当方面へ輸入セラル支那製品(靴下、タオル等ノ下級棉製品屬子化粧品文房品)ハ品質價格ノ点ヨリ地方中流以下支那人ノ嗜好ニ適合シ何レモ本邦品ヲ驅逐シツツアルカ此ハ彼我製品ノ市場ニ於ケル地

一六五 七月十四日

在鉄嶺岩村領事ヨリ
内田外務大臣宛

鉄嶺地方ニ於ケル排日貨状況査報ノ件

付屬書 在鉄嶺岩村領事ヨリ在奉天赤塚総領事宛機密第二
四号信写

機密第四六号

(七月二十日接受)

大正十二年七月十四日

在鉄嶺

領事 岩村 成允(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

大正十二年七月十四日付奉天総領事宛機密第二四号写送付

件 名

一、日貨排斥問題ニ関シ当地状況調査ノ件

(付屬書)

在鉄嶺岩村領事ヨリ在奉天赤塚総領事宛機密第二四号信写

機密第二四号

大正十二年七月十四日

在鉄嶺

領事 岩村 成允

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 一六五

位上当然ナル次第ニシテ以テ排日ノ影響ト見ルヘキモノニ非ス

最近支那労働者間ニ於テ賃銀値上請求等ノ場合ニ於テ多少集合運動ノ傾向ヲ看取スルニ至リタルカ右ハ世界一般風潮ノ然ラシムル所ト目スヘシ惟タ此間ニアリテ当地東報一派カ時々排日論ヲ鼓吹シ六月九日ノ所論ニ於テ朝鮮銀行ノ兌換券流通排斥ヲ主張シタルカ如キ南方派思想ニカブレ利權回收ノ虚名ヲ博セントシタルニ過キスシテ大局ヨリシテ地方民心ニ影響スル所無シト觀察セラル

要スルニ東三省カ今日ノ如ク排日風潮ノ圈外ニ立ツハ支那側現当局カ本邦勢力ヲ向フニ廻シテ對抗スル境遇ニ立ツニ至ラハ自己ノ立場ヲ保持スルコト能ハサルベキヲ自覺シ居ルニ因ルモノニシテ今日南支方面ニ於テ本邦貿易ヲ迫害シツツアル諸行動ノ如キモ政府及地方当局者カ確固タル決心ヲ以テ嚴重ナル取締ヲ加フルニ非サレハ到底終熄スルコト無カルヘシト觀察セラル

本信写送付先 在支公使 上海、天津各総領事

在奉天

総領事 赤塚 正助殿

日貨排斥問題ニ関シ当地状況調査ノ件

本件ニ関シ本月二日付機密領第一八号ヲ以テ外務大臣電報暗号ノ儘御送付相成敬承致候右当地ニ於ケル状況調査候処別紙ノ通ニ有之滿州以外ニ於ケル日貨排斥運動ニ関シ当地方ニハ殆ント何等ノ影響無之候此段報告申進候 敬具
写送付先 外務大臣、在支那公使

(別紙)

滿州以外ノ日貨排斥ニ關連スル調査書

一鉄嶺ニ於ケル日本商ト本邦品取扱支那商トノ日常取引ハ從來極メテ円滑ニ行ハレ本邦商人間ニ於ケル取引ト何等扱フ処ナカリシガ財界不況以來支那人中ニハ動モスレバ自己振出ノ手形ヲ偽造ナリト称シ手形所持人トノ間ニ紛糾ヲ起シ中ニハ逃走シテ所在不明トナリ債權ノ回收不能トナリシコトアルヲ以テ近來支那人トノ取引ニハ成ルベク現金ヲ用ユルコトトナシタルモ排日問題ニハ毫モ關係ナシ

二当地市場ヨリ奥地へ売込ノ商品ハ主トシテ綿糸布ニシテ

諸雜貨之ニ次クモ財界不況ノ結果近來諸商品共著シク売行減退シ特ニ本年ニ於ケル雜貨類ノ取引ハ昨年ノ七八割見当ナルモ綿糸布ハ半バニモ達セズ極メテ不振ノ状態ヲ持續セリ而シテ之ガ売込方法ハ奥地ヨリ來レル仕入客又ハ鉄嶺開原等ノ商人ノ手ヲ經ルモノニシテ綿糸布ハ六月初以來頓ニ売行ナク見送りノ体ナリシガ七月五六日頃ヨリ再ヒ相當商談行ハルルニ至リ為ニ相場モ漸次昂騰ヲ告クルニ至レリ

三本邦ヨリ商品ノ輸入セラルル状況ハ普通商品ノ大部分殆ド九割ハ直接内地ヨリ輸入シ一割ハ大連又ハ營口ヲ經テ移入セラル然レ共對支那人ノ商品ハ雜貨ハ少ク大部分綿糸布ニテ昨十一年一月ヨリ六月迄ノ上半期輸入高ハ約六百万円ナリシモ本年ノ同期ハ其ノ半額ニモ達セザル状況ナリ之レガ原因ハ何等日貨ノ排斥ニ因ルニアラズ全ク財界不況ニ基因スル影響ナリ

四他ノ地ヨリ本邦商品ノ移入ハ極メテ少ク雜貨類ノ一部分及「セメント」ハ大連ヨリ又綿糸布ハ時ニ營口ヨリ移入セラルルコトアルモ極メテ微々タルモノナリ

五本邦銀行ノ預金狀況ハ是又經濟界不況ノ影響ヲ受ケ日支

貨客數ハ左表ノ通ニシテ貨客共却テ増加ヲ示シ何等排日の影響ナシ

貨物ノ部

種別	大正十一年 自一月至六月	大正十二年 自一月至六月
發送數量	七四、三九三噸	七七、〇二九噸
到着數量	五三、五三八噸	四九、八八七噸

旅客ノ部

種別	大正十一年 自一月至六月	大正十二年 自一月至六月
乗車人員	一〇五、五八四人	一一九、四六七人
降車人員	一〇四、九五五人	一一七、一四六八

七排日問題ノ各主要輸出入品ニ及ホセル影響ニ関シ当地ニ於テハ六月初ヨリ綿糸布ノ取引行ハレサリシカ本月五日ヨリ從前ノ通商談ヲ見ルニ至リ為ニ相場モ漸次昂騰シツツアルモ現物ノ取引少ク大部分八九月ノ先物ナリ而シテ六月中商談ノ行ハレザリシハ一ハ需要期ニ非ラサルモ主トシテ他地方ニ於ケル排日ノ結果販路梗塞シ之ニ伴ヒ相場ノ下落スヘキヲ予想シ一時見送りノ為ニテ日貨排斥ヲ行ヒタルニアラス其後前記ノ如ク形勢觀望中ノ者モ自然

人共ニ預金著シク減少シ殊ニ近時支那人ノ預金ハ甚タシク減少セリ之レガ原因ニ付内査スルニ現在支那人ハ排日思想ヲ把持スル者少カラザルモ滿州ノ地タルヤ我國ト特別關係ヲ有シ殊ニ当地ニ於ケル日支官民ノ關係ハ他地方ニ比シ尤モ親密ナルヲ以テ一般取引關係モ從來ト何等異狀ナク只タ財界不振ノ結果金融ハ極度ニ逼迫シ当分恢復ノ見込ナキヲ以テ從來ノ貸借取引ガ自然ニ現金取引ニ傾キタルト第一項記述ノ如ク昨年以来支那人ハ自己振出し係ル手形ヲ偽造ナリトテ支払ヲ肯セザルモノアリタル為ニ本邦商人及銀行等ニ於テモ之ヲ警戒シ可成現金主義ヲ執ルニ至リタル結果現金ニ余裕ナク銀行預金減少スルニ至リタルモノノ如シ今当地ニ於ケル支那人ト關係多キ日支合弁ノ日華銀行ニ付昨年六月ト本年六月ノ預金高ヲ示セバ左ノ如シ

大正十一年六月中

大正十二年六月中

日本人 二六四、二二二円 日本人 一八五、七九六円
支那人 一三一、七六四円 支那人 一六、六二九円
六滿鉄ノ貨客搭載ノ狀況ニ関シ當取取扱數ヲ調査スルニ昨年一月ヨリ六月ニ至ル期間ト本年ノ同期間ニ於ケル搭載

買氣ヲ現ハシ爾來引續キ相當ノ商談ヲ見ルニ至レリ

八本邦品ニ代リ売行増加セル支那製品ハ上海製二十手以下ノ太物綿糸及近年各地ニ製織セル支那土布増加シ是等ノ品質ハ素ヨリ本邦品ニ及サルモ價格低廉ナル結果需用漸次増加シ現今ニ於テハ相當多額ニ上リ本邦品ノ強敵ニテ將來或ハ日本品ヲ圧倒スルニ至ルヤモ料リ難シ其ノ他ノ支那製品ハ現在ニ於テハ本邦品ヲ圧倒スル勢力ヲ有スルモノナク又欧米品ハ近來多少輸入セラレ居ルモ目下ノ程度ニテハ何等顧慮ヲ要セサルガ如シ

九当地ニ於ケル支那商人ハ天津上海方面ト多ク直接取引關係ヲ有セサルヲ以テ彼等ヲ通シ本邦品ノ一部ヲ同方面へ売込ムコトハ價格ニ大差ナキ限り殆ンド見込ナシ

以上

一六六 七月十七日（着） 在赤峰平塚領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

赤峰ニ於ケル排日実情ニ付キ回報ノ件

第一一號

（日貨抵制運動報告方ノ件）
貴電合第一三三六號ニ関シ

二在来排日運動ヲナシタルコトナシ

四ナシ

(奉天經由七月十七日前九、〇五)

在牛莊清水領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

対策二関シ報告ノ件

貴大臣発天津宛電報合第一三三號及一三六號ニ関シ

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 一六七

八此際執ルヘキ対策トシテ本邦政府ヨリ三月十四日発表ノ

九ナシ

地方ノ終熄ト共ニ根絶スベシ

天津へ電報シ同総領事へ在支公使宛転電方依頼ス

從テ当地方ニ於ケル排日運動ノ出現ヲ防止スルニハ先ツ(一)

尚今回ノ廿一條問題ニ關係無ク日本カ露國ニ代リ南滿ニ
占拠以來地方支那官民ノ抱懷セル消極的排日思想其他ニ付
テハ委細郵報スヘシ

北京、奉天へ暗送セリ

編註 内田外務大臣発令第一三五号及び一三六号見当ラズ

一六八 七月二十六日 在遼陽鐵野領事ヨリ
内田外務大臣宛

遼陽地方ノ排日状況ニ関シ報告ノ件

機密第一九号 (八月一日接受)

大正十二年七月二十六日

在遼陽

領事 鐵野 義光(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

排日運動ニ関スル査報方ノ件

天津総領事宛貴電合第一三五号及同合第一三六号ヲ以テ管内排日運動ノ真相影響及之カ対策ニ関シ査報方御訓令ノ趣敬承当管内ニハ奉天省中央權力タル張作霖カ近時保境安民ヲ旨トシ住民ヲシテ他地方ノ排日ニ加担セシメザル方針ヲ執リ居レルコト当地方人士カ南滿州ノ治安維持ニ就テハ日本ニ負フ所少ナカラサルヲ意識セルコト南滿州ニ於テハ日支經濟關係密接ニシテ支那人モ日貨排斥ノ不利ヲ知レルコト等ノ諸事由ニ依リ何等排日の運動ヲ試ルモノ無之又排日支那紙ノ売行モ少数ナルニ付御了知相成度尤モ他ノ各地方ニ於ケル排日運動久シキニ亘リテ愈々氣勢ヲ昂ムルトキハ

近因錯綜競合セルモノアランモ要スルニ支那人カ衷心邦人ノ支那ニ於ケル經濟的發展ヲ喜ハス支那ノ開發ハ支那人自身ノ手ニテ行ハサルヘカラス又行ヒ得ヘキモノナリトノ自覺ノ各界ニ起リ来レルコトカ冥々ノ裡ニ全支排日運動ノ根底ヲ為セルモノト云ハサルヘカラス從テ日本ノ支那ニ於ケル商勢拡張ニ伴ヒ排貨運動ノ起ルハ自然ノ數ナリ殊ニ近時民意尊重ノ声起リ商務總會等ノ地位漸ク重キヲ加ヘ来レル今日ニ於テハ次第ニ支那品ト競争ノ立場ニ在ル本邦品ハ其ノ販路開拓維持上少ナカラサル艱難ニ遭遇スヘク今後邦商ハ努メテ支那人トノ提携協同ヲ図リ利益ヲ頒チ經濟上分離不可能ノ關係ヲ作ルニ非ル限り假令二十一箇条問題消滅ストモ有形無形ノ排貨運動ハ根絶セラレサルヘシ

六、居住邦人ノ態度身上ニ関シ改善スヘキ点

(一)日支人ハ同文同種ナルニ拘ハラス風習氣質相異リテ互ニ容レサルモノ少ナカラサルトコト邦人ハ自ラ省ルコト少クシテ単ニ自國ノ風習ヲ以テ支那人ヲ律セムトスルコトアリ例ヘハ邦人ハ短氣ナルニ反シ支那人ハ悠長邦人ハ潔癖多キニ反シ支那人ハ稍不潔ヲ意トセサル風アルコト

遂ニハ延テ当地方支那人ノ思想ニモ惡影響ヲ及ホス虞アルニ付相當注意ヲ加ヘ対日感情ヲ惡化セシメサルト共ニ日支人ノ利害關係ヲ一層密接不離ナラシムル様努力スルノ要アリト被思料候

事情右ノ如クナルニ付本官ハ天津總領事宛貴電合第一三六号各項ニ関シテハ管内ノ実情ニ基ク査報ヲ為シ得ヘキ位地ニ在ラサルモ這次排日運動ニ対スル一般の觀察トシテ何等御參考迄一、二ノ項ニ就キ卑見及開陳候

一、原因 (1)二十一箇条問題其他日支間ノ重要外交問題カ過去數年間常ニ政争ノ具ニ供セラレ日本ニ対シ不利ナル宣伝カ廣ク行ハレタルコト(2)日本品カ品質ノ割合ニ高価ニシテ殊ニ近來銀価ノ低落ニ伴ヒ両三年前ニ比シ買手タル支那人ニ取り著シク不利トナリタルコト(3)兩國人間ニ氣質風習ノ相容レサル点アリテ融和上困難多キコト(4)在支歐米商人等ノ煽動(過日于冲漢歸遼セルニ付会谈シタルトコロ彼モ英米人ノ裏面ヨリ資金ヲ供セルコト又露國カ革命煽動ノ目的ヲ以テ一部資金ヲ供セルコトヲ認メ居レリ)(5)支那學生等カ蔡元培等ノ社會革命思想ニ動カサルルト共ニ放縱不羈ノ度ヲ増シ来レルコト等諸種ノ遠因

等ニ依リ邦人ハ直ニ支那人ヲ輕侮嫌惡シ乍ラ一方支那人カ邦人ノ短氣狹量ヲ忌ミ又邦人カ素足ニテ街路ヲ歩ミ本邦婦人カ人前ニテ胸部脚部ヲ露出スルニ付支那人ノ嗤笑ヲ受ケツツアルモ平然トシテ改メサル如キ之ナリ

(二)日本人カ支那ニ於テ事業ヲ為シ發展ヲ遂ケムトセハ支那人ヲ研究理解シ又支那語ニ練熟スヘキ必要アルニ拘ハラス滿州地方ニ於テハ邦人多數ナル為ニヤ邦人ノ多クハ之ヲ努メス十數年在留ノ本邦商人ニシテ苦力語ヲ以テ相當ナル支那人ト対談スル状況ナレハ日支人意思疏通並感情融和上遺憾少ナカラス

七、我カ執ルヘキ一般政策

(一)排日取締ノ良否カ直ニ地方官憲ノ利害ヲ支配スルニ至ル如クナラシムルコト

今日地方官憲カ誠意ヲ以テ排貨運動ヲ取締ラサルハ之ヲ取締ルモ取締ラサルモ何等自己ニ利害ノ關係ヲ齎ラサザルニ依ルモノナルニ付當該地方官憲ヲ動カシ得ル勢力ヲ捉ヘ之ヲ通シテ排貨運動取締ノ良否カ直ニ地方官憲ノ地位利害ヲ支配スルニ至ルヘキ事實ヲ現実ニ覺知セシメ得ヘキ方途ヲ講スル外ナカルヘシ(当地官辺ニ於ケル親日

支那人ノ語ル処ニ依ル) 尚我方ニ於テ兵力ヲ用ヒ直接行動ニ依リ排貨運動ヲ抑圧スルトキハ却テ煽動者ヲ利シ無関係ナル他地方ニ一層排日ヲ波及セシムルノ結果ヲ生スヘシ

(三) 本邦品ノ品質ヲ良好ナラシムルト共ニ其ノ価格ヲ低廉ナラシムルコト

本邦品ニシテ良質安価ナラムニハ排貨運動モ今日ノ如ク行ハレサリシナラムモ本邦品カ品質ノ割合ニ高価ナルコトハ排貨運動ヲ容易ナラシムル一因タルヘシ尤モ良質安価ノ貨物ヲ供給セムニハ本邦ニ於ケル生産費ノ低減ヲ図ルト共ニ資本家モ其ノ欲望ヲ抑ヘ所得ノ減少ヲ忍ハサルヘカラス

(三) 貿易企業共ニ支那人ヲ多ク使用シ而モ使用支那人ハ單ニ下級者ニ止メス或ル場合ニハ一方面ノ販売ニ付全權ヲ委任スル等ノ方法ニ依リ利益ヲ領チ日支人ノ利害関係ヲ緊密ナラシムルコト

右回報申進候 敬具

本信写送付先 在支公使 奉天總領事代理

一六九 七月二十八日(着)

在チチハル山崎領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日貨排斥運動ノ原因並ビニ対策ニ関シ意見開

陳ノ件

第二八号

貴電合第一三五号及合第一三六号ニ関シ項目中第三、第四、第五、第七、第九、第十、第十一、第十二ナトニ関シテハ当管内ニハ排日運動實現セサリシヲ以テ報告ノ資料ナキモ其他ノ項目卑見申上ク

第一、華府會議以來増長セル利權回收熱カ旅大問題ヲ導火線トシ売名利己ノ政治家ト国産タル日貨競争品製造者等ノ附和雷同セル他面本春東京ニテ支那留学生排日会合取締ニ際シ警察側カ学生ヲ負傷セシメタル模様ニテ彼等ハ帰国後躍起トナリテ北京各學校ヲ勧誘シ各省出身学生ヨリ各郷里ノ學校ニ檄ヲ飛ハシタルコトハ近因ニテ支那学生カ日本留学中所謂「チャンコロ」呼ハリナト一般ノ輕蔑セラルルコトモ一遠因ナリ

第三、学生ノ輕蔑ハ感情ニ止マルモ日本ノ留学生ニ対スル一般支那人ノ恐怖心ヲ奇貨トシ排日ヲ売名利己ノ道具ト

機密公第一八六号

(八月六日接受)

大正十二年七月三十一日

在長春

領事 西 春彦(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

大正十二年七月二十二日附機密公領第(ㄨ)号

在奉天總領事代理宛公信写送付

件名

満州ニ於ケル排日影響ニ関スル件

(付屬書)

在長春西領事ヨリ在奉天市川總領事代理宛機密公信写

機密公領第(ㄨ)号

大正十二年七月二十二日

在長春

領事 西 春彦

在奉天

總領事代理 市川 信也殿

満州ニ於ケル排日影響ニ関スル件

本件ニ関シ本月二日附機密領第九号ヲ以テ内田外務大臣宛

一七〇 七月三十一日

在長春西領事ヨリ
内田外務大臣宛

長春地方ノ排日貨狀況ニ関シ申進ノ件

付屬書

在長春西領事ヨリ在奉天市川總領事代理宛機密公信写

貴官宛第六二号電報御郵送相成致聞悉候右ハ概要別記ノ通りニ有之候条可然御取計相成度此段申進候

本信写送付先 外務大臣

記

一、在滿邦商及本邦品取扱支那商ノ日常取引ニ及セル影響
排日貨運動ニ直接起因スル変化ハ当地地方ニ之ヲ認メス即チ当地地方ニ於ケル輸出入品ノ大部分ハ本邦商品ニシテ其相手方ヲ本邦商人ニ求メサルヘカラス輸入品中本邦商品ニ代ルヘキ自國製品ハ勿論他ノ外國製品ノ見ルヘキモノナキ当地地方ニ於テモ其受クル不利益莫大ナルコトヲ痛感シ居レル当地地方ニ實際排日貨運動ヲ為スモノナク又南方支那各地ノ排日貨運動ニ影響セラレ此種運動ニ蠢動スルモノナシ右ハ滿州ニ於ケル帝國ノ特殊地位ノ然ラシムル処ナルハ申迄モナキ処ナルカ此辺ノ事情ヲ諒得シ居レル首腦支那官憲ノ嚴正ナル態度ニ負フ処亦尠カラスト思考セラル

二、乃至五及七

前頭事情ニ付此等事項ニ付キ排日貨運動影響ノ見ルヘキモノナシ

因スルモノトハ認メ難シ

九、在滿支那商ヲ通シ本邦品ヲ天津上海方面ヘ売込ノ能否及方法

当地方支那商ヲ通シ本邦品ヲ天津上海方面ニ売込マシムルコト從來密接ナル商取引關係ヲ有セサルヲ以テ今直ニ可能ノ望ナキモノノ如シ

一七一 八月四日 (着) 在吉林深沢總領事代理ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

吉林地方ノ排日狀況報告ノ件

第七〇号

貴電合第一三六号ニ関シ

一、当地ニ於ケル排日貨其ノ他排日之事態ノ遠因トシテハ略々他ノ地方ト同様

(イ) 晩近支那ニ勃興セル主權擁護論及利權回收熱ヲ挙クヘク

(ロ) 支那ニ於ケル日本勢力ノ増大ヲ恐レ嫌フコトニ付支那自身ト英米ノ立場ト期セスシテ一致シタルコト

(ハ) 支那ニ在ル英米人ハ (記者、宣教師、青年會關係者

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 一七一

六、滿鉄搭載貨客ニ及セル影響

全ク何等影響ヲ受ケズ寧ロ一般ニ其信用利便等ヲ知悉シ居リ之カ利用者漸増ノ趨勢ニアリ

八、本邦品ニ代リテ売行増加セル支那米乃至支那製品ノ有無程度

イ、支那米ニ付

從來滿州ニ於ケル水稻作ニ従事セル移住鮮人等ハ自家自給ノ程度ヲ出テス發達遅々タル狀態ナリシカ大正五六年以來米価ノ昂騰ハ一般ニ水稻耕作熱ヲ煽リ現今其耕作面積五万町歩產穀百三十万石ヲ称フルニ至リ陸稻ノ耕作亦増加シ從來一部上流支那人ノ常食トセル鮮米乃至直隸米ハ滿州米ニ販路ヲ侵略セラレ從テ鮮米ノ輸入逐次減退スルノ傾向ニアルモ之蓋シ自然ノ趨勢ニシテ排日貨運動ノ影響トハ見ルヘカラス

ロ、支那製品ニ付

近時異常ナル速度ヲ以テ發達シツツアル支那殊ニ南支工業界カ從來外國ニ供給ヲ仰キ居タル綿製品其他低級雜貨類ノ生産ニ努ムルノ結果此種本邦輸入品中売行減退セルモノナキニ非ラサレドモ右ハ日貨排斥運動ニ起

等) 機會アル毎ニ支那ノ対日運動ヲ暗ニ煽テタルコト其他ヲ挙クヘク又近因トシテ

(イ) 華府會議前後支那カ英米ノ援助ヲ特ミ日本ノ立場ヲ弱ムルニ熱中セルコト

(ロ) 青島其ノ他ノ問題ニ関スル日本ノ讓歩の態度 (他力ニ依ル) ハ益々支那ヲ有頂天ナラシメシコト

(ハ) 日本側口癖ノ日支親善、共存共榮論ハ寧ロ支那人ノ輕侮ヲ増セシコト

其ノ他ヲ挙クヘク要スルニ今ノ排日ノ根本原因ハ歐洲大戰後列強均勢ノ消長変化殊ニ米英ノ勢力ニ對シ全ク孤立無援トナリタル日本ヲ支那カ見縊ルコトニアリ仮令二十一條問題ナクトモ隨時他ニ排日材料ヲ求ムヘシ

二、在來ノモノニ比シ別ニ特筆ヲ認メス

三、主唱者ニ吉林外交後援會ノ如キアルモ運動者ハ重ニ雷同響應セルモノニテ地方ニ勢力アルモノハ實際ニ加ハリ居ラス

四、当地ニハ歐米商人ノ競争者ナク却テ日本品扱支那當業者多キ結果學生等ノ運動ハ迷惑ガラル

五、当地ニテハ問題トナラス

六、改善ノ余地ハアラムモ何等不都合ナシ
七、本邦人側ノ新聞論調等ハ多少注意シ居ルナラムモ当地ノ排日運動極メテ微々タル為實際ノ影響認メ難シ
八、我執ルヘキ一般方策トシテハ帝國代表者及出先各領事ニ於テ単ニ文書等ノ抗議丈ヲ為スモ利目乏シキニ付中央政府及地方最有力官憲ノ急所ヲ突キ得ル方法ヲ講シ先ツ之ヲ仄カスニアリ又排貨団体ノ正体ト其ノ日貨没収等ノ行為ヲ突止メ具體的ニ賠償ヲ為サシムルモ宜シキ方法ナリ（本官長沙在勤当時塩川洋行ニ付其ノ実例アリ）
次ニ当地ニ於ケル取引状態ハ何等從來ト変リナク邦商ヨリノ苦情モ出テ居ラス

九、支那側ノ排日言論中未タ（脱）ト認メラルモノヲ聞カス劣貨トハ商品ノ良否ヲ問ハス日貨ト明言ヲ避クル為用ヒタル語ナルカ如シ尤日本品中粗製ノ物多シ
十、当地ニ於テハ既ニ終熄ニ近キモ各省殊ニ長江筋ニ於ケル終熄時期ニ付テハ予測シ難シ

十一、今回排日ニ伴ヒ当地方日本支那商共ニ差シテ損害ナシ從テ欧米人及一部支那商ノ利セル程度モ言フニ足ラス
十二、当地ニ於ケル排日ハ微力ニテ實際ノ影響ナキニ付略

ダ敬服スルモ軌道ヲ外レタル行動ヲ慎ム可キ旨戒メ且諸願ノ趣旨ハ中央政府ニ電報スベシト一場ノ訓示ヲ与ヘ群衆ハ午後一時過ギ其場ニ於テ解散シ大会及行列ハ比較的静粛ニ行ナハレ何等ノ事故發生ヲ見ズ尚同日城内商務總會ニ於テ日貨ノ処分及將來日貨ノ取扱ヲ為サザル旨協議セル模様アリ前日ヨリ廢除二十一箇条回收旅順大連ノ貼札ヲ主ナル市街各商店ニ貼附セラレタリ

本電北京及青島へ転電シ芝罘へ暗号ノ儘郵送セリ

一七三 四月四日（発）
在張家口荒井領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

張家口ニ於ケル二十一箇条問題ニ関スル学生
並ビニ商務總會ノ動向ニ付申進ノ件

第三号

二十一ヶ条問題ニ関シ今般北京学生連合会及天津青年会ヨリ発シタル檄文カ相前後シテ当地ノ学校ニ送達セラルルヤ三四百余名ノ学生ハ四月一日師範学校ニ集マリ協議会ヲ開キ一学生ハ慷慨悲憤ノ演説ヲ試ミ更ニ指ヲ切ツテ白布ニ献血救国ト血書シ終ハルヤ演壇上ニ昏倒シタリ会衆ハ之ニ激

ス

二 華北

一七二 四月四日（発）
在濟南藤井總領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

濟南ニ於ケル旅大回收、日貨排斥ニ関スル国
民大会ニ付報告ノ件

第二四号

本官發青島總領事宛電報第一八号

予報ノ通本月三日午前九時当地商埠公園ニ於テ国民大会ヲ挙行市内男女学校十余校商業各団体等一万人参集シ座長ニ推サレタル曹省議會長ハ国民ハ二十一箇条ヲ承認セス旅大回收ノ目的ヲ貫徹セントスルモノナリ云々ノ開会ノ辞ヲ述べ其他数名ノ演説アリ中央政府及各地方ニ通電ヲ發スルコトヲ議決シ十時半散会ノ群衆ハ直ニ隊伍ヲ整ヘ旅大回收日貨抵制等ノ大小ノ旗ヲ手ニシ公園ヨリ当館ノ門前ヲ通過九馬路ヲ經テ城内ニ至リ省長公署ニ赴キ請願書ヲ提出シタルニ熊省長ハ自ら之ニ応接シ今日諸君ノ熱誠ナル愛国心ハ甚

セラレ直ニ旗行列ニ著手セムトスル折柄警察庁長及学務委員等ハ察哈爾都統ノ内意ヲ受ケテ現場ニ馳ケ付ケ在留日本人少ナキ当地ニ於テ示威運動ヲ行フトモ学業ヲ空シクスルノミニテ其効果無カルヘシ誠意ノ存スル所ハ詳細其筋へ上申スヘキニ付輕挙盲動スル勿レト懇々説諭シタルニ学生ハ一同之ニ從ヒ示威運動ヲ見合セタリ

当地商務總會ハ今般大總統及國務委員ニ宛テ二十一ヶ条問題ハ已ニ国会ノ否認セルモノナレハ國際法上何等ノ効力ナキ筈ナリ然ルニ日本ハ強キヲ恃ミ法ニ違ヒ我國權ヲ侵害スル行動ハ国民一般ノ痛憤スル所ナレハ此際我主權ヲ保護シ正義ノ存スル所ヲ明ニスヘク嚴重交渉セラレムコトヲ希望スト電請セルモ右ハ一片ノ形式ニ過キサスモノノ如クニシテ其他何等ノ示威的運動ヲ認メス日支人間ノ商取引ハ依然トシテ恙ナク行ハレツツアリ又当地唯一ノ支那新聞紙ハ未タ評論ヲ試ミタルコトナシ要スルニ当地支那側官民ノ態度ハ右ノ如キ学生団ノ空騒キ一回アリタル外ハ目下ノ所概シテ冷靜ナリ

北京へ電報セリ